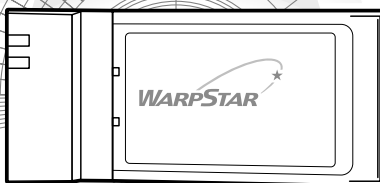


**Aterm® WL11CA****Aterm® WL11CB**

11 Mbps Wireless LAN Card

ご使用になる前に

このたびは、『Aterm WL11CA』『Aterm WL11CB』
をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、
本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあと大切に
保管してください。



「ソフトウェアのご使用条件」は、3 ページ
に記載されています。添付 CD-ROM を開
封する前に必ずお読みください。

目次

目次	2
ソフトウェアのご使用条件	3
安全に正しくお使いいただくために	5
1 ご使用にあたって	9
2 セットを確認する	11
3 各部の名前とはたらき	12
4 WL11CA/WL11CB を子機として接続する	13
5 修理・保守サービス	32
6 製品仕様	38

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2002、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2002
NEC、NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の
全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求め頂きありがとうございます。
本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客さまによるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

ご同意を頂けない場合は添付の CD-ROM を開封せずに、お求めになった取扱店に CD-ROM を含めた本商品一式をご返却くだされば、実際に支払われた本商品の代金をお返しします。添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1 ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびその全ての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的のみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

- (2) お客様は、許諾プログラムの全ての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
- (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転等

- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有するAtermシリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料を全て引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
- (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイル等

- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

- (1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限りです。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
- (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになったAtermシリーズの代金額をもってその上限とします。




8. その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

警告

風呂、シャワー室への設置禁止

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

発煙した場合

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに接続コード類や本体の接続を取り外してください。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水が装置内部に入った場合

万一、内部に水などが入った場合は、すぐに接続コード類や本体の接続を取り外して、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

警告

異物が装置内部に入った場合

本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに接続コード類や本体の接続を取り外して、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

破損した場合

万一、落としたり破損した場合は、すぐに接続コード類や本体の接続を取り外して、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

分解・改造の禁止

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ぬらすことの禁止

本商品に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

使用禁止区域での注意

航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

ペースメーカを装着されている方の注意

植え込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から 22cm 以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。

異物を入れないための注意

本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

注意

火気のそばへの設置禁止

本商品や接続コード類を熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

横置き・重ね置きの禁止

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。

乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

取扱説明書に従って接続してください。

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

STOP お願い

本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで50～100m程度です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。

本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したりデータ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

「Aterm WL11CA」「Aterm WL11CB」は、128bitWEPの高いセキュリティに対応したPCカードタイプの11Mbps無線LANカードです。「Aterm WL11CA」「Aterm WL11CB」は、次のようにご利用いただけます。

WARPSTARベースの子機（WARPSTAR サテライト）

WARPSTARベースをワイヤレス親機として、その親機と離れたところから通信できます。

WL11CAは、WARPSTARベース（親機）の拡張カードスロットに装着して、WARPSTARベースにワイヤレスLAN機能をアドオンできます。

WL11CBはWARPSTARベースの拡張スロットに装着することはできません。

子機としてご利用の場合

PCカードTYPE スロットを搭載し、対応OSが搭載されているPC-AT互換機で使用できます。

なお、128bitWEPを利用できるのは親機または通信相手のワイヤレス機器が、128bitWEPに対応している場合です。128bitWEP未対応の機器と通信する場合は、通常のWEPでご利用ください。

親機に装着してご利用の場合（WL11CAのみ）

装着できる親機は、次の通りです。

Aterm WA7500H/WDR85FH/WBR75H/WB65DSL/WB55TL/WB45RL/WB50T/WB20R

（2002年10月1日現在）

ただし、Aterm WL11CAを装着したWB65DSL/WB55TL/WB45RL/WB50T/WB20Rでの128bit/WEP通信は、バージョンアップで対応できます。

また、128bitWEPを有効とした場合は、128bitWEP未対応の子機〔WL11C、WL11U、WL11U（W）〕はご利用になれません。これらの子機をご利用になる場合は、通常のWEPでご利用ください。

親機と組み合わせて使用する場合の操作・設定方法については親機の取扱説明書をご覧ください。

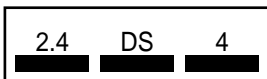
WL11CBはWARPSTARベースの拡張スロットに装着することはできません。

ワイヤレス機器の使用上の注意

本商品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- （1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- （2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- （3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm（エーターム）インフォメーションセンターにお問い合わせください。

本商品は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- | | |
|-----|---|
| 2.4 | :2.4GHz帯を使用する無線設備を示す |
| DS | :変調方式を示す |
| 4 | :想定される干渉距離が40m以下であること
:全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する |

暗号化を行う場合

暗号化通信の利用可否表

親機	子機側				
	WL11CB	WL11CA	WL11E (サテライトモード)	WL11C	WL11U
WL11CAを装着した親機					
WL11Cを装着した親機					
WL11E(アクセスポイントモード)					
WB7000H					
WL50T					
WL30A					
WL20R					

同一無線ネットワークにおいてWEPと128bitWEPの混在はできません。

の組み合わせの場合だけ128bitWEPが使用できます。

の組み合わせではWEPが利用できます。

128bitWEPは従来の40bit鍵のWEPを拡張して104bit鍵にした暗号化機能です。



お知らせ

子機に添付されている、CD-ROM(ユーティリティ集)の対応機種は、お使いの親機と異なることがあります。その場合はお使いの親機に適合したCD-ROMをご利用ください。

ユーティリティ、ファームウェアは、機能追加などのため順次バージョンアップしています。ホームページ Aterm Station (<http://121ware.com/aterm/>) の【バージョンアップ】コーナーでお使いの機種とOSを選択し、[GO!] ボタンをクリックして表示された「バージョンアップ」ページで確認してください。お手持ちのWARPSTARより新しいバージョンが掲載されている場合は、「バージョンアップ方法」にしたがってバージョンアップすることをお勧めします。

利用できるワイヤレスLAN製品の組み合わせの最新情報は、Aterm Station (<http://121ware.com/aterm/>) にてご確認ください。

暗号化の機能はアドホックモード(パソコン間通信)では使用できません。

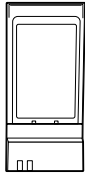
2

セットを確認する

設置を始める前に、構成部品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

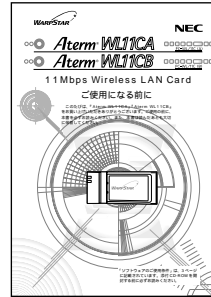
構成部品

WL11CA または WL11CB

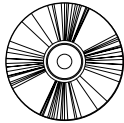


WL11CA
または WL11CB

ご使用になる前に (本書)



CD-ROM (ユーティリティ集)

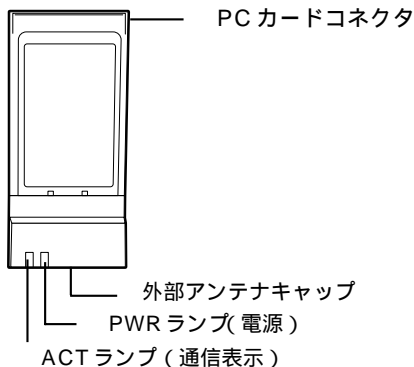


保証書

無線注意シール

3 各部の名前とはたらき

WL11CA/WL11CB



PCカードコネクタ
パソコンのPCカードスロットに差し込み接続します。

ACTランプ(通信表示)
データ通信中に緑色で点滅します。

PWRランプ(電源)
電源が入っており、無線状態が正常なとき、緑色で点灯します。

外部アンテナキャップ
別売りのワイヤレス外部アンテナ(PA-WL/ANT1)を接続します。

お願い

子機を同じパソコンに複数同時に接続することはできません。また、他のネットワークデバイス(USB-LANポート、ETHERNETポートデバイスなど)とも同時に使用することはできませんので、1台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは1つのみにしてください。

PCカードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。



お知らせ

WL11CAは親機(WA7500H/WDR85FH/WBR75H/WB65DSL/WB55TL/WB45RL/WB50T/WB20R)の拡張スロットに装着して、無線LAN機能を拡張することができます。WL11CBを親機に装着することはできません。

WL11CA/WL11CB を子機として 接続する

WL11CA/WL11CB を子機としてお使いいただく場合、パソコンとの接続（ドライバのインストール）と子機の設定が必要です。ここでは子機単独で設定する場合の手順を説明しています。親機に添付の CD-ROM からインストールするユーティリティで親機の設定とあわせて設定を行うこともできます。

親機と組み合わせてご利用になる場合は、親機取扱説明書にあわせて、接続設定を行ってください。

次の手順で設定を行っていきます。

WL11CA/WL11CB に接続できるのは Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98 のみです。Macintosh ではご利用になれません。

パソコンとの接続（ドライバのインストール）

Windows® XP の場合（☛P15）

Windows® Me の場合（☛P17）

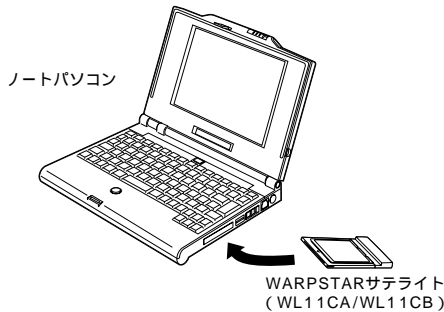
Windows® 2000 Professional の場合（☛P19）

Windows® 98SE/98 の場合（☛P21）

設定する

ワイヤレスネットワークの設定（Windows® XP の場合）（☛P23）

サテライトマネージャで設定する（Windows® Me/2000 Professional/98SE/98 の場合）（☛P27）



WL11CA/WL11CB を取り付けることができるのは PC カードスロット（TYPE ）があるパソコンです。

ここではまだ装着しないでください。

WL11CA/WL11CB のドライバを親機に添付の CD-ROM ユーティリティから、ウィザード形式の操作でインストールするときには、ユーティリティのガイドで指示されるまで WL11CA/WL11CB をパソコンのカードスロットに挿入しないでください。

ドライバは Aterm WL11C/WL11CA/WL11CB 共通です。

お願い

WL11CA/WL11CBはパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にご使用いただくことをお勧めします。

ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないとWL11CA/WL11CBのドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。

WL11CA/WL11CBの取り扱いについて

取り付けるとき


- ・WL11CA/WL11CBのコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- ・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

取りはずすとき

- ・WL11CA/WL11CBを取りはずすときは、以下の操作でPCカードを取りはずせる状態にしてから取りはずしてください。

タスクトレイのPCカードアイコンをクリックする

[Aterm WL11C (PC-WL/11C)の停止]をクリックする (Windows[®] 98の場合は [Aterm WL11C (PC-WL/11C)の中止]をクリックする、Windows[®] XPの場合は [WARPSTAR WL11C (PC-WL/11C)を安全に取り外します]をクリックする)

「Aterm WL11C (PC-WL/11C)は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、[OK]をクリックする (Windows[®] XPの場合は  をクリックして画面を閉じる)

WL11CA/WL11CBを取りはずす

WL11CA/WL11CBを差し込んだ場合にも、タスクトレイのカードアイコンはWL11Cと表示されます。

WL11CA/WL11CB とパソコンを接続する（ドライバのインストール）

WL11CA/WL11CB とパソコンを接続する手順は接続するパソコンの OS によって異なります。それぞれの OS ごとに接続を行ってください。

Windows® XP の場合

Windows® XP のネットワークアダプタに、子機（WL11CA/WL11CB）のドライバをインストールします。

本商品に添付の CD-ROM（ユーティリティ集）が必要です。

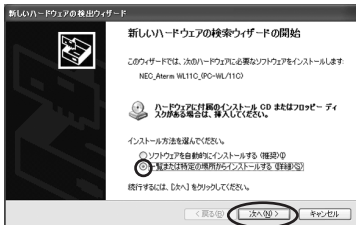
1 Windows® XP を起動する

2 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする

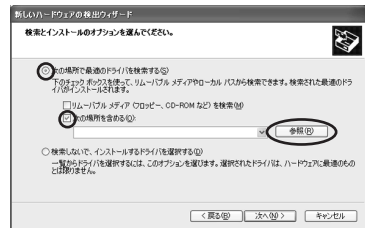
しばらくするとメニュー画面が表示されるので、[終了] をクリックしてメニュー画面を閉じてから次の手順 3 に進みます。表示されない場合は、そのまま手順 3 に進みます。

3 パソコンに WL11CA / WL11CB を取り付ける

4 [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示された場合には、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択し、[次へ] をクリックする

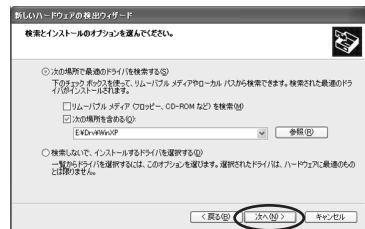


5 [次の場所で最適なドライバを検索する] と [次の場所を含める] にチェックし、[参照] をクリックする



6 CD-ROM ドライブから [Drv] - [WinXP] を選択し、[OK] をクリックする

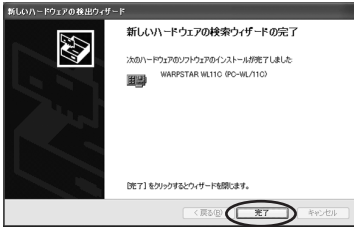
7 [次へ] をクリックする



(この画面は、CD-ROM ドライブ名が E の場合です)

8

インストールが完了したら、
[完了]をクリックする



9

CD-ROM を取り出す

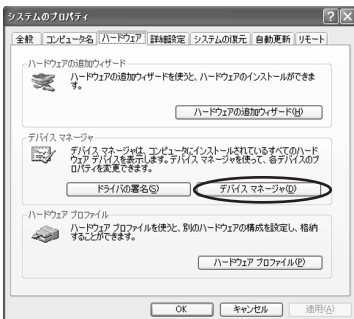
10

WL11CA/WL11CB ドライ
バのインストールを確認する

[スタート] - [マイコンピ
ュータ] - [システム情報を表示する]
をクリックする

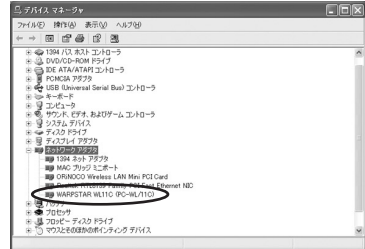


「ハードウェア」タブをクリック
する
[デバイスマネージャ] をクリッ
クする



[ネットワークアダプタ] をダブル
クリックする

[WARPSTAR WL11C (PC-
WL/11C)] が表示されているこ
とを確認する



「ワイヤレスネットワークの
設定」(P23)に進みます。



こんなときは

手順 10 で [WARPSTAR WL11C
(PC-WL/11C)] の頭に黄色い①が
表示されたときは、正しくインス
トールされていません。いったんアン
インストールしてから、インストールを
やり直してください。

手順 10 で他のネットワークアダプ
タが有効になっていると正しく動作し
ない場合があります。

[WARPSTAR WL11C (PC-WL/
11C)] 以外のネットワークアダプ
タは、[操作] - [プロパティ] をクリッ
クして「全般」タブの [デバイスの使
用状況] で [このデバイスを使わない
(無効)] をチェックして無効にしてく
ださい。

Windows® Me の場合

Windows® Me のネットワークアダプタに、子機 (WL11CA/WL11CB) のドライバをインストールします。
本商品に添付の CD-ROM (ユーティリティ集) が必要です。

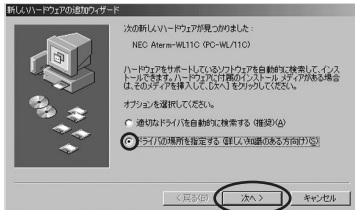
1 Windows® Me を起動する

2 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) をセットする

しばらくするとメニュー画面が表示されるので、[終了] をクリックしてメニュー画面を閉じてから次の手順 3 に進みます。表示されない場合は、そのまま手順 3 に進みます。

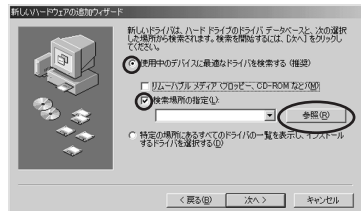
3 パソコンに WL11CA / WL11CB を取り付ける

[新しいハードウェアの追加ウィザード] 画面が表示されます。



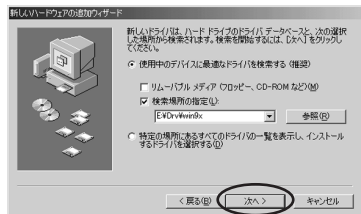
4 [ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)] をクリックし、[次へ] をクリックする

5 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] と [検索場所の指定] にチェックし、[参照] をクリックする



6 CD-ROM 内の [Drv] - [Win9x] フォルダを選択し、[OK] をクリックする

7 [次へ] をクリックする



(この画面は、CD-ROM ドライブ名が E の場合です)

8 [次へ] をクリックする

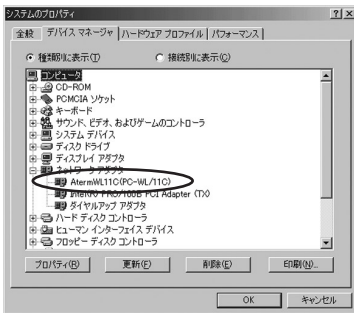
9 インストールが完了したら、[完了] をクリックする

CD-ROM を取り出して、画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。



10 WL11CA/WL11CBドライバのインストールを確認する

- [スタート] ボタン - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- [システム] アイコンをダブルクリックする
- [デバイスマネージャ] タブをクリックする
- [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- [Aterm WL11C(PC-WL/11C)] が表示されていることを確認する



➡ 「サテライトマネージャで設定する」(P27)に進みます。

? こんなときは

手順 10 で [Aterm WL11C (PC-WL/11C)] の頭に黄色い①が表示されたときは、正しくインストールされていません。

いったんアンインストールしてから、インストールをやり直してください。

手順 10 で他のネットワークアダプタが有効になっていると、正しく動作しない場合があります。

[Aterm WL11C (PC-WL/11C)] 以外のネットワークアダプタは [プロパティ] をクリックして [全般] タブの [デバイスの使用] で [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] をチェックして、無効にしてください。

Windows® 2000 Professional の場合

1 Windows® 2000 Professional を起動する

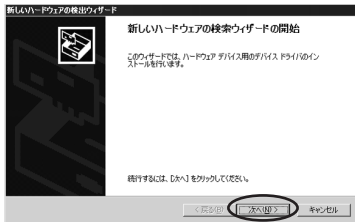
2 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) をセットする

しばらくするとメニュー画面が表示されるので、[終了] をクリックしてメニュー画面を閉じてから次の手順 3 に進みます。表示されない場合は、そのまま手順 3 に進みます。

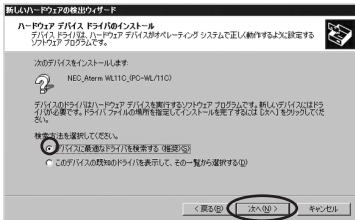
3 パソコンに WL11CA / WL11CB を取り付ける

[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。

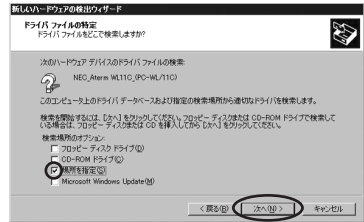
4 [次へ] をクリックする



5 [デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をクリックし、[次へ] をクリックする



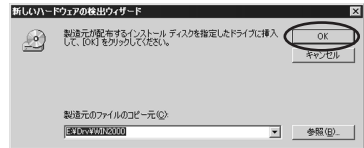
6 [場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックする



7 [参照] をクリックする

8 CD-ROM 内の [Drv] - [Win2000] フォルダを選択し、[開く] をクリックする

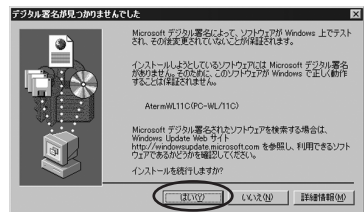
9 [OK] をクリックする



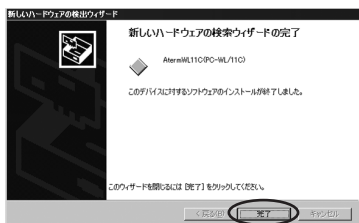
(この画面は、CD-ROM ドライブ名が E の場合です)

10 [次へ] をクリックする

11 次の画面が表示されたときは [はい] をクリックする



12 インストールが完了したら [完了] をクリックする



13 WL11CA/WL11CB ドライバのインストールを確認する

[スタート] ボタン - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする

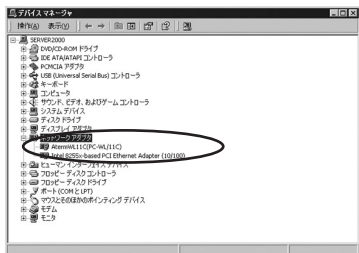
[システム] アイコンをダブルクリックする

[ハードウェア] タブをクリックする

[デバイスマネージャ] タブをクリックする

[ネットワークアダプタ] をダブルクリックする

[Aterm WL11C (PC-WL/11C)] が表示されていることを確認する



「サテライトマネージャで設定する」(P27)に進みます。

? こんなときは

手順 13 で [Aterm WL11C (PC-WL/11C)] の頭に黄色い①が表示されたときは、正しくインストールされていません。いったんアンインストールしてから、インストールをやり直してください。

手順 13 で他のネットワークアダプタが有効になっていると、正しく動作しない場合があります。

[Aterm WL11C (PC-WL/11C)] 以外のネットワークアダプタは [操作] - [プロパティ] をクリックして [全般] タブの [デバイスの使用] で [このデバイスを使わない (無効)] をチェックして、無効にしてください。

Windows® 98SE/98 の場合

1 Windows® 98SE/98 を起動する

2 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) をセットする

しばらくするとメニュー画面が表示されるので、[終了]をクリックしてメニュー画面を閉じてから次の手順3に進みます。表示されない場合は、そのまま手順3に進みます。

3 パソコンに WL11CA / WL11CB を取り付ける

[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。

4 [次へ] をクリックする



5 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をクリックし、[次へ] をクリックする



6 [検索場所の指定] をチェックし、[参照] をクリックする



7 CD-ROM 内の [Drv] - [Win9x] フォルダを選択し、[OK] をクリックする

8 [次へ] をクリックする



(この画面では、CD-ROM ドライブ名が Q の場合です)

9 [次へ] をクリックする

10 インストールが完了したら、[完了] をクリックする
CD-ROM を取り出して、画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。



11

WL11CA/WL11CB ドライバのインストールを確認する

- [スタート] ボタン - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- [システム] アイコンをダブルクリックする
- [デバイスマネージャ] タブをクリックする
- [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- [Aterm WL11C(PC-WL/11C)] が表示されていることを確認する



「サテライトマネージャで設定する」(P27)に進みます。

? こんなときは

手順 11 で [Aterm WL11C (PC-WL/11C)] の頭に黄色い①が表示されたときは、正しくインストールされていません。いったんアンインストールしてから、インストールをやり直してください。

手順 11 で他のネットワークアダプタが有効になっていると正しく動作しない場合があります。

[Aterm WL11C (PC-WL/11C)] 以外のネットワークアダプタは [プロパティ] をクリックして [全般] タブの [デバイスの使用] で [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] をチェックして無効にしてください。

! ドライバをアンインストールするには

WL11CA/WL11CB のドライバを正常にインストールできなかった場合やパソコンを WL11CA/WL11CB のドライバをインストール前の状態に戻したい場合は、WL11CA/WL11CB のドライバをアンインストールします。

起動中のアプリケーションをすべて終了させる

パソコンからそれぞれの OS の手順に従って、WL11CA/WL11CB を取りはずす添付の CD-ROM (ユーティリティ集) をドライブにセットする

しばらくするとメニュー画面が表示されます。

[ドライバのアンインストール] をクリックする

[OK] をクリックする

[Aterm WL11CB/WL11CA/WL11C] を選択して [実行] をクリックする

画面の指示に従ってドライバのアンインストールを行う

設定する

WL11CA/WL11CB を子機として使用するための設定を行います。

子機間通信（アドホックモード）でお使いになる場合は添付 CD-ROM に収録されている機能詳細ガイド（HTML ファイル）を参照してください。

ワイヤレスネットワークの設定（Windows® XP の場合）

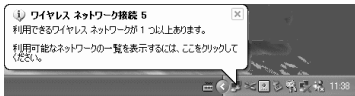
Windows® XP の場合は、Windows® XP に内蔵されているワイヤレスネットワークの設定で設定します。サテライトマネージャで設定することはできません。

暗号化設定されていない親機の場合（☛ 下記）

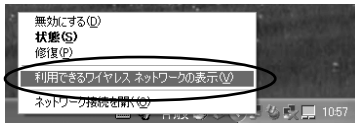
暗号化設定されている親機の場合（☛ P24）

親機に接続する（親機に暗号化設定されていないとき）

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される



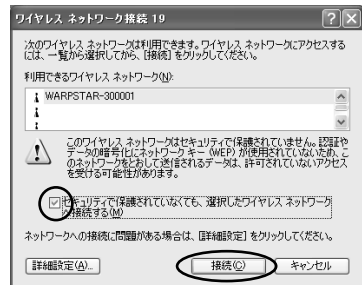
- 2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする



- 3 「利用できるネットワーク」を選択する

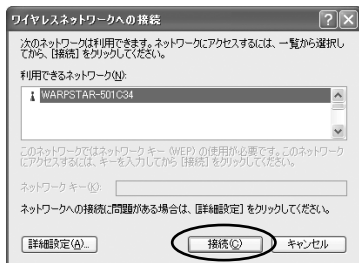


- ・ Aterm WBR75H などの親機の場合、工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は、親機の側面に記載されている WAN/PC（MAC アドレス）の下 6 桁）です。次の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていない」でも選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて [接続] をクリックしてください。

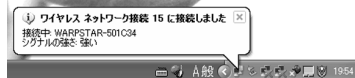


- ・ [利用できるネットワーク] に使用する親機が表示されていない場合は、次ページの「? こんなときには」を参照してください。

4 [接続] をクリックする



5 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する



? こんなときには

手順 3 で[利用できるネットワーク]に親機が表示されていない場合は、次の手順を行ってください。

手順 3 の画面で[詳細設定]をクリックする

[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]の[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックし、[利用できるネットワーク]の[最新の情報に更新]をクリックする

[利用できるネットワーク]を選択して、[構成]をクリックする

ネットワーク名と WEP を確認して、[OK]をクリックする

[OK]をクリックする

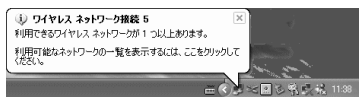
親機が暗号化などのセキュリティ設定がされている場合には、[利用できるネットワーク]に親機が表示されないことがあります。下記の「暗号化を設定して親機に接続する」を参照して、親機に合わせた暗号化設定を行うか、親機の設定を解除してください。親機の暗号化設定の確認方法と解除方法については、親機の取扱説明書を参照してください。

暗号化を設定して親機に接続する (親機に暗号化設定されていないとき)

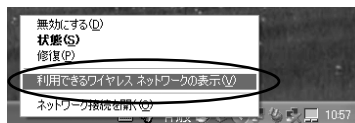
以下の設定は Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して 64bitWEP / 128bitWEP をご利用になる場合の説明です。

暗号化の設定を行う場合は必ず親機側に先に設定してください。

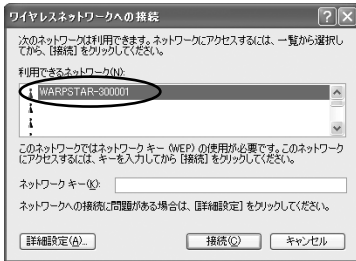
1 パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される



2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

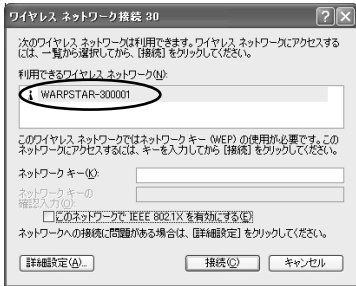


3 「利用できるネットワーク」を選択する



- ・ Aterm WBR75H などの親機の場合、工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は、親機の側面に記載されている WAN/PC（MAC アドレス）の下 6 桁）です。

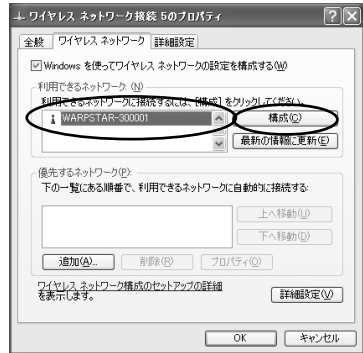
<Windows® XP Service Pack 1 のとき>



4 [詳細設定] をクリックする

5 接続する親機のネットワーク名をクリックし、[構成] をクリックする

ネットワーク名が [優先するネットワーク] に表示されている場合は、[優先するネットワーク] 欄からネットワーク名を選択し、[プロパティ] をクリックします。



6 ~ の設定を行う

[データの暗号化] にチェックする
[キーは、自動的に提供される] の
チェックをはずす

[ネットワークキー] は、親機に入力した暗号化キーを入力してください。

キーの形式：

親機で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII 文字を選択してください。

親機で「指定方法」を 16 進数と設定した場合は、16 進数を選択してください。

キーの長さ：

親機で「暗号強度」を標準(64bit)と設定した場合は、40bitを選択してください。

親機で「暗号強度」を拡張(128bit)と設定した場合は、104bitを選択してください。

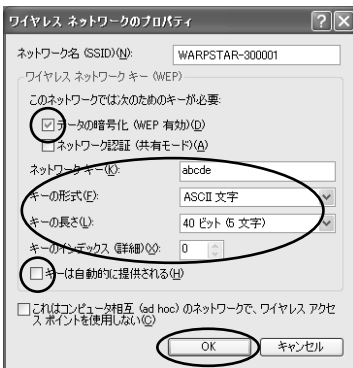
キーのインデックス：

お使いの親機の「使用する暗号化キー」の番号から、1を引いた数をキーのインデックスに入力してください。

(親機では、使用する暗号化キーは1~4ですが、ワイヤレスネットワークでは、0~3となっているためです。双方のキーを設定する“テーブル”を合わせないと、通信が行えません。)

親機側確認方法は、クイック設定Webの[無線LAN側設定]-[暗号化(WEP)]で使用する暗号化キー番号を確認してください。

[OK]をクリックする



! 暗号化設定

< Windows® XP Service Pack1 の場合 >

Windows® XP Service Pack1 をインストールした場合、手順6の画面が異なります。

以下の手順で設定を行ってください。

[データの暗号化]にチェックする
[キーは、自動的に提供される]のチェックをはずす

[ネットワークキー]は親機に入力した暗号化キーを入力する

[ネットワークキー]を入力したら、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII文字 / 16進数の別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII文字の場合：英数字5文字、または13文字で指定(13文字は親機に128bitWEPの設定をした場合のみ)

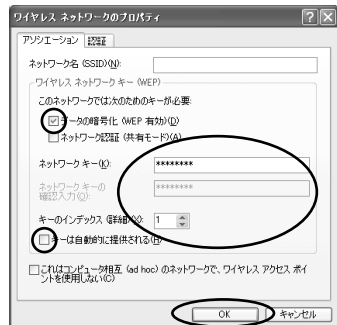
・16進数の場合：0~9・A~Fで10文字、または26文字で指定(26文字は親機に128bitWEPの設定をした場合のみ)

親機の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

[キーのインデックス]1~4番は、WARPSTARベースの[使用する暗号化キー]1~4番に相当します。

[キーのインデックス]にお使いの親機の[使用する暗号化キー]を入力する

[OK]をクリックする



サテライトマネージャで設定する

CD-ROM に収録されているユーティリティ、サテライトマネージャをインストールすることによって、子機の設定を行うことができます。

サテライトマネージャは、WL11CA/WL11CB の無線の通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線 LAN のデータ保護（暗号化）の設定を行うことができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにもデータ保護の設定を行うことをお勧めします。

サテライトマネージャをインストールする

1 Windows® Me/2000 Professional/98SE/98 を起動する

2 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。
メニューが表示されないときは（P28）

3 [WARPSTAR ユーティリティのインストール] をクリックする

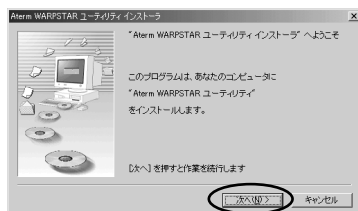


画面は例です。

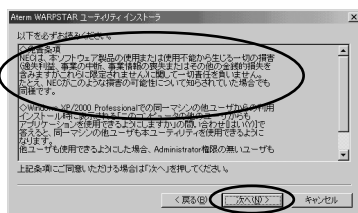
[次へ] をクリックする



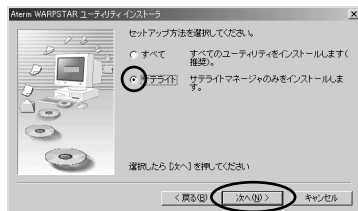
5 [次へ] をクリックする



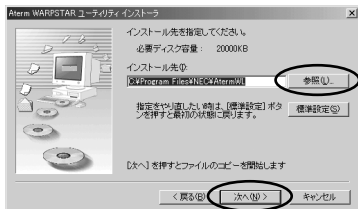
6 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ] をクリックする



7 [サテライト] を選択し、[次へ] をクリックする

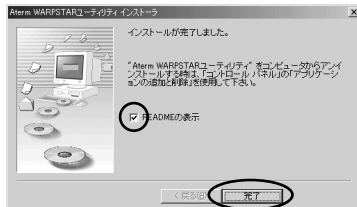


- 8 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ]をクリックする
インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。



- 9 [はい]をクリックする
インストールが開始されます。

- 10 [README の表示] にチェックが入っている (☑) ことを確認し、[完了]をクリックする



- 11 README をよく読み、[README] 画面を閉じる
インストールが完了し、サテライトマネージャが起動します。



「通信する親機を選択する」(P29)に進みます。

? サテライトマネージャを起動するには

サテライトマネージャを終了させたあとに、再度サテライトマネージャを起動するときは、[スタート]をクリックし、[プログラム]—[Aterm WARPSTAR ユーティリティ]—[サテライトマネージャ]をクリックします。



お知らせ

添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

Windows® の [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥Menu.exe と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:¥Menu.exe)

Windows® 2000 でサテライトマネージャをインストールするには、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

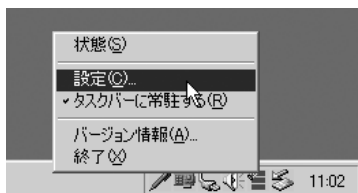
Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてもインストールできないときは、添付の CD-ROM に収録されている「お困りのときには」を参照してください。

通信する親機を選択する

1 サテライトマネージャを起動する

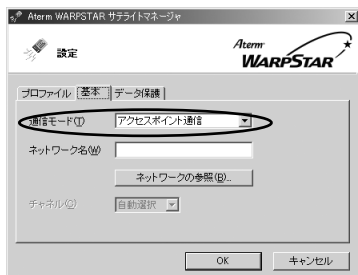
[スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTARユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックする
タスクトレイにある [サテライトマネージャ] が表示されます。

2 タスクトレイにあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[設定] を選択する



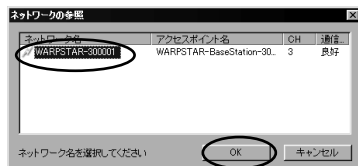
3 [基本] タブをクリックする

4 [通信モード] で [アクセスポイント通信] を選択する



5 [ネットワークの参照] をクリックする

6 接続先のネットワーク名をクリックして、[OK] をクリックする



親機の出荷時設定は WARPSTAR-xxxxxx (xxxxxx は親機側面に貼られているラベルの WAN / PC の MAC アドレスの下 6 桁) です。

「ネットワーク名」を直接入力しても設定できます。

親機が暗号化などのセキュリティ設定がされている場合には、[利用できるネットワーク] に親機が表示されることがあります。次ページの「暗号化の設定をする」を参照して、親機に合わせた暗号化設定を行うか、親機の設定を解除してください。親機の暗号化設定の確認方法と解除方法については、親機の取扱説明書を参照してください。

7 [OK] をクリックする

➡ 暗号化の設定をする場合は、「暗号化の設定をする」(☞P30)に進みます。暗号化の設定をしない場合は「サテライトマネージャで親機との通信状態を確認する」(☞P31)に進みます。

暗号化の設定をする

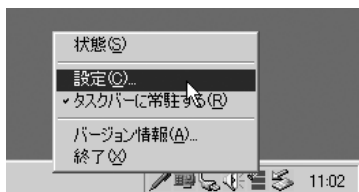
暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。

1 サテライトマネージャを起動する

[スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTARユーティリティ] - [サテライトマネージャ]をクリックする

タスクトレイにある [サテライトマネージャ] が表示されます。

2 タスクトレイにあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[設定]を選択する



3 [データ保護] タブをクリックする

4 暗号化の設定をする

通信する相手の機器（親機、パソコン間通信の場合は、子機）と設定値を同じにしてください。



[データ保護を有効] にチェックを入れます。

「使用する暗号化キー」を入力します。

設定した暗号化キー（最大4個）のうち使用する暗号化キーのキー番号を設定します。

「暗号強度」を「64bit」「128bit」から選択します。

「指定方法」を選択し、「暗号化キー」を入力します。

英数字は0～9、a～z、A～Zで構成されている文字列を指定できます。16進は0～9、a～f、A～Fで構成されている文字列を指定できます。

5 [OK] をクリックする

サテライトマネージャで親機との通信状態を確認する

サテライトマネージャで通信している親機や子機間との通信状態をサテライトマネージャアイコンで確認することができます。

タスクトレイにある「サテライトマネージャ」のアイコンを表示



: WL11CA/WL11CB が正しく接続されていません。



: 親機が見つかりません。



: 通信相手の子機が見つかりません（パソコン間通信のとき）。



: 親機または通信相手の子機(パソコン間通信のとき) が正しく検出できています。

サテライトマネージャのアイコンが  のように表示されれば設定は完了です。

！ サテライトマネージャの使い方

タスクトレイにあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

[状態] :

親機との通信状態を詳細に確認することができます。

無線の通信状態が「良好」となることを確認してください。「良好」と表示されないときは、「良好」と表示される位置までパソコンを移動してください。アクセスポイント名が正しく表示されていることも確認してください。

[設定] :

サテライトマネージャの設定データ（プロファイル）が選択できます。通信モードの設定、無線のネットワーク名、子機のデータ保護設定をすることができます。

[タスクバーに常駐する] :

[タスクバーに常駐する] にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

[バージョン情報] :


ソフトウェアバージョンにはサテライトマネージャのバージョンが、無線カード F/W バージョンには WL11CA/WL11CB のファームウェアのバージョンが表示されます。

[終了] :

サテライトマネージャを終了します。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

WL11CA/WL11CB 仕様

仕様一覧

項目		諸元	備考
端末インタフェース		PCカード TYPE	Aterm WL11CB は、WARPSTAR ベース（親機）の拡張カードスロットへは装着不可
無線 LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b RCR STD-33、ARIB STD-T66	無線 LAN 標準プロトコル 小電力データ通信システム規格
	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯（2400 ~ 2497MHz） / ch1 ~ ch14	
	伝送方式	DS-SS 方式（スペクトラム直接拡散方式）	
	伝送速度（ ） （Mbps）	11.0/5.5/2.0/1.0	自動フォールバック
	伝送距離	オープン（参考値）： 160m（11Mbps）~ 550m（1Mbps） セミオープン（屋外）： 50m（11Mbps）~ 115m（1Mbps） クローズド（屋内）： 25m（11Mbps）~ 50m（1Mbps）	環境により変動
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ（内蔵）	
	セキュリティ	ESS-ID、64bitWEP/128bitWEP	
ヒューマンインタフェース		状態表示 LED × 2	
利用可能端末		PC98-NX、PC-AT 互換機	
利用可能 OS		Windows® XP 日本語版 Windows® Millennium Edition 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版 Windows® 98 Second Edition 日本語版 Windows® 98 日本語版	
電源		DC5V × 300mA	パソコンから給電
消費電力		約 1.5W（最大）	
外形寸法（mm）（W × H × D）		約 54 × 9 × 119	
質量		約 0.06kg	
動作環境		温度 0 ~ 40 湿度 10 ~ 90 %	結露しないこと

表示の速度は規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

128bitWEP は従来の 40bit 鍵の WEP を拡張して、104bit 鍵にした暗号化機能です。
同一無線ネットワークにおいて、WEP と 128bitWEP の混在はできません。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠していません。本商品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本商品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

ご注意


- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の纯粹経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっても能力を發揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

この取扱説明書は古紙配合率 100 %の再生紙を使用しています。